



昭和 42年 12月 25日 第三種郵便物認可 平成 26年 2月 25日 発行 (偶数月 25日 発行) 通巻 459号 ISSN1882-9643

J-SAILING

JAPAN SAILING FEDERATION



NO.105

www.jsaf.or.jp



オレオが
つなげてくれる！



Twist
回してはまず!

Scoop
クリームをすくって!

Dunk
牛乳に浸す!



ヤマザキナビスコ

ナビスコ及びオレオはモンテリーズ・インターナショナル グループにより使用許諾されている商標です。

JSAFからのメッセージ

一人でも多くのメンバーが登録を

日頃よりセーリングの普及・発展にご尽力いただき、ありがとうございます。JSAF 会員登録の時期がまいりました。同じセーリングスポーツを楽しむ仲間として、ぜひ会員登録を基本に、何ができるかをともに考えていきたいと思っております。

前号で2020東京オリンピック・パラリンピック開催決定の喜びをお伝えいたしました。これに関連してIOCが提唱するオリンピックの価値、卓越 excellence、尊敬 respect、友情 friendship を紹介いたします。

セーリングスポーツの場合、卓越とは、昨年より今年、先月より今月と各セーラーのシーマンシップの質を高め、競技中にしっかりと戦えること。相手に勝つことだけでなく自分自身を磨くよう努力すること。

尊敬とは、セーラー同士が競技規則を守り競い合うなかで、互いに敬意を払うこと。さらには競技をさせてもらう自然環境にも敬意を払うこと。

友情とは、国内外の選手や運営スタッフを問わず、同じ競技を楽しむものとして仲間になること。趣味であるセーリング文化の絆を通して人間の幅を広げること。

セーリングを楽しむ仲間たちに、ぜひセーリングスポーツの素晴らしさを伝えるとともに、会員登録をお誘いいただけるようお願いいたします。例年と同様に3月から平成26年度に向けた会員登録が始まります。

JSAFのメンバーになれば

- ◎メンバーカードが発行され、公式競技参加の資格が与えられます。
- ◎会費の一部が傷害保険の保険料に充当され、セーリングの事故による死亡、後遺障害に適用されます。
- ◎JSAFの会報誌「J-SAILING」が送付されます。
- ◎各種講習会などに参加でき、資格を取得する際の条件に適用されます。
- ◎「J-SAILING」をはじめ、所属する加盟団体からもセーリングに関する各種行事やレース日程などの情報が提供されます。

加入、更新手続きの詳細は各加盟団体にお問い合わせください。

<http://www.jsaf.or.jp/dantai/>

■ジュニア・ユースにも届きます。

J-SAILING はジュニア・ユースメンバーが所属するおよそ200の団体にお届けしています。各団体のご担当者の方々には、ジュニア・ユースセーラーのためにJ-SAILING を活用されることをお勧めいたします。

■PDFでも読めます。

JSAF ホームページの<http://www.jsaf.or.jp/j-sailing/> にアクセスしてください。J-SAILINGのpdfバージョンが掲載されています。過去の記事を再読したり、本誌が手元にない時にもPCがあれば読むことができます。ご利用ください。

■メールアドレスをお知らせください。

デジタル化が進み、電子メールを使った連絡方法が一般的になっています。JSAFもメンバー各位に様々な情報をお届けする際、メールを利用することが多くなっています。そこで、各団体の登録業務ご担当の方々には、ぜひメールアドレスを併記していただけるようお願いいたします。



いい風に恵まれた今年の開催地オーストラリア・ジーロング。日本のように「風が弱くてレースが消化できない!」と悩む必要は皆無だった

メルジェス24

2014年メルジェス24クラス世界選手権

メルジェス24は今年でデビュー21年目を迎えました。国内ではおそろしく15艇ほどしか存在せず、実際に乗艇された方は少ないでしょう。2隻の日本艇が参加した今年のワールドの様子とともに同クラスの現況をお伝えします。

レポート／日本メルジェス協会・石黒建太郎
写真／中嶋一成



総合10位となった日本艇〈スリーボンド〉

メルジェス24の今

メルジェス24は過去に7回の全日本選手権が行われ、2009年から「スリーボンド」がイタリアを主戦場として活動を開始し、11年世界選手権では「エスプリ」がコリンシアンディビジョン優勝、さらに12年世界選手権では「マンマユート」が総合7位となりました。

昨年9年ぶりに「Japan Melges Week」として全日本も復活しています。

昨今、キールボートの世界ではスピンネーカーではなくジエネカーを主流とするボートが増加していますが、メルジェス24は21年前からジエネカーを使う快足ボートとして注目を浴びていました。

メルジェスボートにはアウディ・メルジェス20、メルジェス24、メルジェス32の3クラスが存在し、ほぼ同じコンセプトで成り立っていますが、メル

ジェス24だけ唯一大きく違う点があり、それはプロセーラーの乗員制限を設けていないことです。

14年世界選手権にはメルジェスパフォーマンスセーラーボートCEOのハリー・メルジェス、シドニー五輪470級金メダリストのネイサン・ウィルモット、13年モス級ワールドチャンピオンのボラ・グラリ、そのほかクリス・ラーソン、チャリー・マッキーなど世界的に「超」がつくプロセーラーが多数参加しましたが、そのプロたちが自由にヘルムスマンとして参加でき、また全員プロでも構いません。

一方、誰でも参加できるオープンディビジョンの他にコリンシアンディビジョンが設けられ、チーム全員がISAFクラシフィケーションのグループ1（セーリングが職業ではない旨の証明書を持つ）であればこのクラスに登録し、純粋にアマチュアセーラーのみで競い合うことのできるシステムがあります。

ただしスタートは一緒です。プロ軍団にアマチュアだけでどこまで戦えるのかも楽しみのひとつです。

前哨戦のオーストラリア選手権

2014年の世界選手権（1月20日〜2月2日・オーストラリア、ジーロング）に「スリーボンド」（松永鉄也ヘルム）とコリンシアンディビジョ

ンとして「エスプリ」（長橋誠ヘルム）の2チームが参戦しました。

初のアジア・オセアニア地域での世界選手権開催。前述のプロセーラー陣の他、イタリアの強豪チーム（ブルー・ムーン）、（アウディ）、（アルテア）、コリンシアンクラスで本当にいいのかと疑ってしまうエッチェル級ワールドチャンピオンのキヤメロン・マイルズがヘルムの「ロジャー・ザット」など計27チームが参加しました。

前哨戦となるオーストラリア選手権では、「スリーボンド」がネイサン・ウィルモットを抑えて総合5位となりました。松永鉄也、吉田雄悟のオリピンコンビに笹木哲也、川西立人が脇を固め、イタリアから来たニコラス・ピアンキがタクティシャンでまどめるチームはさすがの一言です。

対照的だったのは「エスプリ」。初日は「スリーボンド」と共にいい位置につけましたが徐々にほころびが出て、後半は他艇との接触によるリタイヤ、マークルールの争いによる審問となるも失格し、総合11位に甘んじました。「エスプリ」は長橋誠、田淵靖浩、森田栄納介、石黒建太郎の元470セーラー、J24クラスの強豪「月光」の中山遼平が乗り込むチームです。

待ちに待った世界選手権だった

世界選手権は毎日13時30分スタート予定と大変遅い時間に始まります。な

QUANTUM

www.quantum-jpn.com
info@quantum-jpn.com

JAPAN BOATSHOW 2014
INTERNATIONAL

ボートショー出展します。
3月6日(木)~10日(日)
パシフィコ横浜(第1会場)

www.wattsmarine.jp

(株)セイルス・パイ・ワッツ・ジャパン
本社ロフト

〒238-0233 神奈川県三浦市向ヶ崎町 8-40
電話:046-882-5451 fax:046-882-4319
関西営業所(新西宮 YH)

〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜 4-14-3
電話:0798-23-6410 fax:0798-23-6420



(エスプリ) は総合 15 位、コリンシアンディビジョン 4 位となった

せなら遅い方が決まってい風恵まれるからです。

ここからボラ・グラリ率いる(ウエストマリン・リギン)、イタリアの(アルテア)が登場と大会のレベルがまた一段アップします。

(スリーポンド)、(エスプリ)はともに初日10位前後の順位となり苦戦します。2日目になり、(スリーポンド)は徐々に復調気配を見せますが、(エスプリ)はリコール解消、スタートでのケースによる720度回転でさらに調子を下げます。

3日目は(スリーポンド)がZ旗掲揚のスタートでリコールするなどどうしても上位に浮き上がれず、(エスプリ)は第1上マークをシングルで回航するなどいいところを随所に見せますがフィニッシュまで維持できず。4日目も両チームともに初日から同様な状況が続き、ついに最終日の1レースを残すのみとなりました。

しかし、残り1レース、最後に一矢報いたところでしたが風弱く、スタートリミットの15時を迎え今大会が終了。

栄えある優勝はイタリアの(ブルーモン)で01年に続き2回目の優勝で

す。あのスピードには誰も勝てないのではないかと?と思わせたいたハリー・メルジェス率いる(スター)を抑え切ったの素晴らしい優勝でした。

日本チームは(スリーポンド)が総合10位、(エスプリ)が総合15位及びコリンシアン4位となり、大苦戦で終わったと言えます。2チームそれぞれに事情が違い、一概にはなかなか言えませんが、ボートを素直に、そして気持ちよく走らせるためのヘルム・トリム・タクティクスが噛み合っていない

かったのだらうと思います。根本的なことですが、それぞれが高い技術を持ち合わせていたとしてもうまく融合しなければ生かすことができないと痛切に感じました。それがキールボートの難しさであり、またワンドザインレースの難しさではないでしょうか。

「Japan Melges Week」から世界へ

今大会の全体的な印象と言えば、まずスタートでした。

日本の2チームがリコールを経験しましたが、全レース、スタートラインが狭いためにゼネリコを繰り返し、毎

回リコールありのスタートでした。次に13時30分第1レーススタートでも毎日3レースをこなせるコンディションの良さ、さらにテンポよく進行する実に効率的な運営が印象的です。個人的にはあまりにいいテンポで少々疲れましたが。

大会イベントではありませんがメルジェス24ディーラーであるメルジェスアジアパシフィック主催の田中パーティが開かれ、ハリー・メルジェス、ネイサン・ウィルモットやボラ・グラリたちと肉を食しながらクリケットなどのゲームに興じる、など海でも陸でも皆で楽しむメルジェス24のイベントは最高の一言です。

日本メルジェス協会はまだ生まれただばかりの組織ですが、このような「素晴らしいロケーションで素晴らしいレースをし、仲間たちと夜まで楽しむ」を目指し、より多くの人たちとつながっていきたくと考えます。

11月には返子マリナーで「Japan Melges Week」を開催予定であり、ここから世界チャンピオンへの道が開けていくことを切に願うばかりです。皆様からのご参加の一報をお待ちしております。

2014年度 JSAF ナショナルチーム選手一覧

2016年リオデジャネイロ五輪に向けてのナショナルチームが決定した。
8クラス28人の選手がオリンピック代表の座を目指してトレーニングに励む。

* 2014年2月1日現在のデータ * データは選手名、所属、出身校の順



470級男子

松永 鉄也 マツナガ テツヤ
株式会社スリーボンド
同志社大学



吉田 雄悟 ヨシダ ユウゴ
株式会社スリーボンド
法政大学



470級男子

土居 一斗 ドイ カズト
チームアビーム
日本経済大学 福岡第一高等学校



今村 公彦 イマムラ キミヒコ
チームアビーム
九州旅客鉄道株式会社 日本経済大学



470級男子

飯束 潮吹 イイツカ シブキ
株式会社エス・ピー・ネットワーク
日本経済大学



八山 慎司 ハチヤマ シンジ
株式会社エス・ピー・ネットワーク
福岡大学



470級男子

市野 直毅 イチノ ナオキ
和歌山セーリングクラブ
関西学院大学



外園 潤平 ホカゾノ ジュンペイ
九州旅客鉄道株式会社
日本経済大学



470級女子

松下 結 マツシタ ユイ
株式会社ベネッセホールディングス
関西学院大学



鈴木 梨奈 スズキ リナ
東北学院大学
塩釜高校



470級女子

吉田 愛 ヨシダ アイ
株式会社ベネッセホールディングス
日本大学



吉岡 美帆 ヨシオカ ミホ
株式会社ベネッセホールディングス
立命館大学 兵庫県立芦屋高等学校



49erFX 級

波多江 慶 ハタエ チカ
株式会社豊田自動織機
日本経済大学

大熊 典子 オオクマ ノリコ
株式会社豊田自動織機
長崎大学

49er 級

牧野 幸雄 マキノ ユキオ
トヨタ自動車東日本株式会社
立命館大学

高橋 賢次 タカハシ ケンジ
トヨタ自動車東日本株式会社
関東学院大学



レーザーラジアル級

田畑 和歌子 タバタ ワカコ
チームアビーム アビームコンサルティング株式会社
日本経済大学

レーザーラジアル級

土居 愛実 ドイ マナミ
慶應義塾大学
山手学院高校

レーザー級

南里 研二 ナンリ ケンジ
佐賀県ヨット連盟
佐賀県立唐津西高等学校

レーザー級

安田 真之助 ヤスタ シンノスケ
京都府教育委員会
国立大学法人鹿屋体育大学



RS:X 級男子

板庇 雄馬 イタバシ ユウマ
立命館大学
滋賀県立栗東高等学校

RS:X 級男子

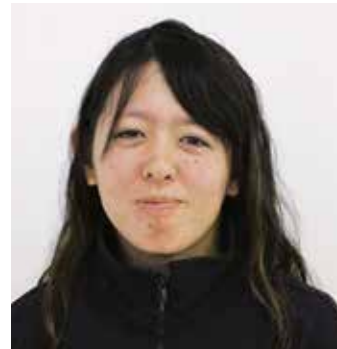
富澤 慎 トミザワ マコト
トヨタ自動車東日本株式会社
関東学院大学

レーザーラジアル級

富部 柚三子 トンベ ユミコ
—日本女子大学

レーザーラジアル級

蛭田 香名子 ヒルタ カナコ
株式会社豊田自動織機
琉球大学



RS:X 級女子

伊勢田 愛 イセダ メグミ
ピワコマリンスポーツクラブ有限会社
同志社大学

RS:X 級女子

小嶺 恵美 コミネ メグミ
ジェイ・ウィル・パートナーズ
関東学院大学

RS:X 級女子

大西富士子 オオニシ フジコ
TEARS
桜美林大学

RS:X 級女子

須長 由季 スナガ ユキ
株式会社ミキハウス
明治大学